

産業交流展2018及び新価値創造展2018を視察して（まとめ）

1.展示会を視察して感じたこと。

・展示会で各ブース(企業)を訪問し、重作業を楽にするパワースーツ・中小企業が製造した安価な集塵機等に興味を持ちましたが、その後購入等の具体的な行動までは至っておらず、同様の別の展示会に参加した時にも興味を示した製品等がありましたが具体的な購入等の行動には繋がっておらず、なかなかすぐに業務につながらないなと感じております。

・自社製品を出展しているメーカーは資料も豊富でプレゼンが上手な所が多かった。

・筐体.com等話を聞いていると実はすごい設備&技術だと感じることはあったが、その反面一目でお客様に伝えるのは中々難しいと感じました。

・メーカー以外では切削物の展示が多いのを覚えています、加工品を特に足を止めて見ている人は余りいないと感じました。

・今回の目的に対しての勉強不足だったこともあり、仕事に活かそうというのは特に思いつくことが出来ませんでした。

・展示会に弊社のような受注した物を製作するだけの製造メーカーが出展する場合、明確な目的、強力なインパクト・アピール・プレゼンを持って行かなければ結果は残らないと感じました。

・今回の展示会では特定の業種やユーザーに特化した展覧会ではないのですが、精密加工の企業が多く出ていたり、目新しい磁石を使った無接点ギアのメーカー等を見ることが出来ました。自分の業種では無いからと言いつつも、ポリエチレンのフィルムを綺麗に溶着するためには精密加工が必要となります。我々も精密加工をしていますが、自分たちの業種の展覧会に行ったのではライバル達の秘密の技術見本市になってしまい、各メーカーの技術や現実味の無いハイレベルな機械を見せ合う展示会になってしまい、自分たちに活かせるアイデアが少ない事もあります。このような幅広い(業種関係ない)目線での展覧会では、新しい技術をどのように使っているか。どのように広めているか。何に取り入れることが出来るかというのを細かい技術屋さんの目線で見ることが出来る貴重な企画だったと感じました。

・今までは参加していた定期的な展示会は自社に直接関係するような展示会ばかりでしたが、今回の展示会で感じたことは“全然違う業種、業態からでもヒントが得られるかも？”という事です。1/18にビックサイトで開かれた(毎年見学に行っている)“インターネプコンジャパン”に行ってきましたが、いつも見ているような関連のところではなく、今後の事を見据えた“IOT”、“AI”などの会場をメインに見学してきました。(新価値創造展に行っていればいつもと同じだった気がします)今までの考え方をしているだけでは、周りの同業とは差別化は出来ない事や、今後の事を見据えた情報収集、発想転換がとても大事に感じれた。視察でした。

・他業種や同業他社さんの活気ある展示活動に改めて感嘆しました。運営側も含め準備も相当大変だと思いました。自分の会社の強みをどれだけ上手くアピールできるかが鍵なのかと思いました。弊社のような加工ができるではインパクトがあまりなく、他社さんでは出来ないことや、珍し製品、特化していることがあると注目が集まるように感じました。また、星製作所さんのような、ネットでの商談ができる環境を作るチャレンジが必要で、それには時間とお金も片手間では対応出来ないの、コンセプトをしっかりとしないといけない。ただ加工依頼を受けて製作し納めての繰り返しから、一歩踏み出すことの必要であり弊社にあったやり方で更に儲かるやり方を見つけ出さないといけないと感じました。毎日の業務に追われていてはダメで余裕作らないといけないと考えさせられました。

2. 展示会を視察して自社に活かそうと思ったこと。

・弊社のお客様の製品を使用されている企業が出店されており、弊社品を使用した製品も購入されている可能性がありますので、弊社のお客様に確認したり、営業活動に活かせればと考えております。今後展示会に参加する際には、「今後の新規事業の参考にする」という意識をもっと強く持ち参加したいと考えます。

・今回の目的に対しての勉強不足だったこともあり、仕事に活かそうというのは特に思いつくことが出来ませんでした。展示会に弊社のような受注した物を製作するだけの製造メーカーが出展する場合、明確な目的、強力なインパクト・アピール・プレゼンを持って行かなければ結果は残らないと感じました。

・今更ですが、人の興味はどこにあるか分からない思いました。このような展示会は業種に限った展示会ではなく、技術を広めるという点では非常に有効だなと感じました。出展者の業種や得意分野の広さは感心するのですが、次世代の方々の意外なブースへの個々の興味の惹かれ方を見てみると、自分の業種では無いのに使っている機能の一部であったり、実は困っている日頃の部分であったりと、知らなかった最新ではないけど新しい使い方(もの)だったりと何に興味があるか分からないなど実感しました。今回の展示会で活かせるかどうかと感じたのは、先にも書いた無接点のギアです。以前からその技術はあったようですが、実際に見たときのインパクトや説明を聞いての使い勝手を聞いて活かせるなと思いました。しかし、1か月ほど経過した今となってはその無接点ギアの企業も調べなければ思い出せない状態です。このような展示会場での名の残し方、技術だけではなく、捨てられてしまうパンフレットだけではなく爪痕の残し方も大切だなと、この文を書いていて改めて思いました。

・自分達に直接関係のないような展示会でも、時間が作れた際には会場に足を運ぼうと思います。そこで得た情報を自社に置き換え、色々なことに盛り込めるように展開が出来ればと考えます。すぐにはなく、長い視点で物事を考えられるような力を付けなければと感じた視察でした。次回は2/6～2/8開催されるテクニカルショー(横浜)に行けるよう段取り中です。

・弊社と同様な会社は残念ながらありませんでしたが、何社かコンタクトをとり見積り依頼を投げたりしています。銀ローや微細な穴加工、表面処理、システム等に気になる会社があり、今後も連絡をとっていくつもりです。あと、各地域ごとに発行しているパンフレットには加工業社のインフォメーションがあったので積極的に活用してみます。